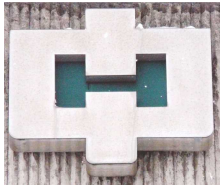


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



# あ さ ひ こ 朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成30年 1月31日(水) 第23号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 夏は洪水、冬は断水… 不便さから学ぶ

### 大寒波

による地吹雪のため、先週は道路が通行止めになり、通勤退勤に数倍の時間がかかりました。保護者の皆様もそのような状況であったのではないのでしょうか。生徒も登下校に不自由はしていますが、元気でホッとしています。コートも着ないで来る生徒もいますので、自己判断できる生徒に育てたいです。ようやく道路が開通したと思ったら、佐渡全域でのこの断水。特に、国仲地区の畑野と新穂はその被害に遭いました。全国ニュースでも流れ、全島の4割が断水とは驚異です。

さて、29日は国仲給食センターが調理できず、断水の状況も把握できない状況から休校になりました。この時点で断水していたご家庭が多かったのではないかと推察します。夜遅い時間での連絡でしたが、皆様のご協力ですスムーズに連絡網を回すことができました。ありがとうございます。緊急事態とは言え、今後、メール配信等も検討していきます。

昨日から学校は再開しました。心配した飲み水を確保し、トイレに使うタンクの水も数日分あります。手洗いもアルコール消毒液をトイレと食堂の前に置いて対応しています。30日朝の段階では、2割のご家庭で未だ水が出ず、3割がチョロチョロと少し出る程度、残りが水が出ている状況でした。「井戸の水でしのいだ」「親戚の家に避難した」という生徒もいました。「髪を洗いたい」「風呂に入りたい」「トイレが大変!」といった生徒の声も聞こえてきました。本日31日には、98%のご家庭で水が出るようになりました。よかったです。あと少しです。

学校の状況は体育館側の水道は全く出ませんが、教室棟校舎は水が出ます。ポンプでタンクに水を貯めているので、凍らなければその水が使えます。しかし、追加給水ができなければ心配です。節水して水を使っていく必要があります。数日間のトイレ等の水は賄えると考えています。水の出ないご家庭の生徒用に飲み水を用意しましたが、案外節約してあまり飲んでいないので、「飲んで水分補給をするんだよ」と声を掛ける始末です。給食に関しては、非常食ではありますが簡易給食で対応しています。金曜日には通常の給食が再開できるように最善を尽くしているということでした。

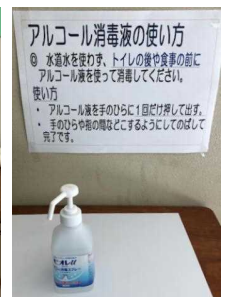
ところで今回、水の有り難さと大切さを痛感させられました。給食は非常食と質素ですが、食べ物がある、牛乳があるだけでも有り難いです。生徒も（これでは足りないな）と感じていても、文句を言う子は一人もいません。残さず味わって食べていました。非常食であっても、備蓄したり、保管したり、運んだり、温められなくても、いろいろな方のお陰で食べられます。緊急事態に贅沢は言えません。

普段の生活がいかに恵まれているか。便利な世の中で、何でもあるのが当たり前、してもらうのが当たり前慣れすぎていると、自分で考えたり、判断したりすることが退化していくのではないかと思うことがあります。ボタン一つでお風呂の水が満タンになったり、スイッチを押さなくても自動で電灯が点いたり…。計算も計算機にお任せで、地頭で計算しようとしなくなってマズいなと感じています。漢字も読めても書けなくなってきた自分にボケだけでなく、退化を感じています。

今年度は夏に50年に一度という大雨、冬は最強寒波による断水と自然災害の影響が続きました。防災意識を持って、防災のために普段からどのようにしておかなければならないのか、未然防止のために何をしておかなければいけないか、地頭で考える力を退化させないようにしたいものです。



非常食 3品 (30日)



# 佐渡の魅力を知らないの？ 2年総合学習

**佐渡地域おこし協力隊**の斉藤千里さんから、協力隊の仕事や佐渡の魅力について、26日講話をいただきました。2学期の「課題解決型職場体験」で学んだことを生かして、佐渡のよさや課題を再認識し、佐渡の活性化について考えをまとめる意図があり、総合的な学習の時間に行われました。併せて、来春の修学旅行で京都・奈良を訪れるので、その学習テーマにつなげる意味もありました。

佐渡で暮らしたいと思った理由や佐渡で暮らしていて残念なこと、そして、自分の膨らむ夢を明るく語ってくれました。話の中で、都会にはない佐渡の魅力（豊かさ）や佐渡の課題を分かりやすく話してくれました。特に、佐渡に暮らしたいと思った理由の5つのキーワード「最旬端」「多種多才」「自給自多足」「共生共栄」「独意工夫」はなるほどと思わせてくれました。これらは斉藤さんの造語ですが、佐渡のどんなよさを表していると思いますか？漢字から想像して親子で話し合ってみてください。2年生のご家族であれば、お子さんに聞いてみてください。1・3年生は2年生に聞いてみてください。

## 魅力がたくさんなのに 大間

斉藤さんのお話を聞いて、佐渡って魅力がたくさんあるんだなと思いました。私は佐渡に住んでいるのに、全然佐渡にある昔ながらのお店をあまり知りません。でも斉藤さんのお話を聞いて、興味がわいたので親に頼んで連れて行ってもらいたいと思います。

## 佐渡のことを知ろう 川上

佐渡人なのに佐渡のことを知らなかったの、今回を機会に知っておこうと思いました。佐渡にいて普通だと思っていた近所の人野菜を持ってきてくれることが、都会の人にはすごいと思われることだったんだとビックリしました。今日講話を聞いてもっとちゃんと佐渡のことを知ろうと思いました。

## 魅力を伝えられるように 中村

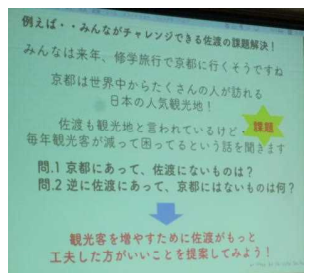
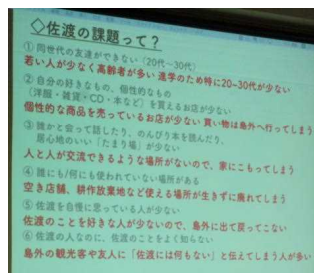
今日は佐渡について、見つめ直す部分があるなと思いました。斉藤さんは3年間東京で働いて、佐渡に来て佐渡を活性化させようとするのがすごいと思いました。ワインを作るという夢を持って、今やっていることが大切なんだと思いました。

大学に行くために佐渡を出ても、斉藤さんみたいに佐渡の魅力を伝えていけるようにしたいです。観光客を増やすためにも、佐渡の人たちの力を一つにすることも大切だなと思いました。

## 魅力を見つけない 中川

初めて「佐渡地域おこし協力隊」の方に会って、しかもその人が埼玉県出身ということにも驚きました。最初お話を聞く前、「なぜ都会の東京から田舎の佐渡を選んだのだろう」と思っていました。でも、お話を聞いて、私たち佐渡人も知らないような所まで魅力だと言ってもらえて何だか、嬉しかったです。

斉藤さんのお話にもあった「佐渡を誇りに思っていない」は私にも当てはまっていました。一番近くに佐渡があるからこそ、魅力を見つけていきたいです。



## スキー授業断念 ～3月2日に延期～

**楽しみに**していたスキー授業でしたが、最強寒波のためこの日は中止にしました。前日まで市教委やスキー協会と連絡を取り合い、スキー場までの除雪、スキー場の状況を確認し、当日早朝に最終判断をする予定でした。しかし、暴風警報だけでなく低温注意報や雷注意報まで出ており、25日のスキー授業は断念しました。

代替日はもともと設定していなかったのですが、せっかくスキーのできる服装等の準備をしましたので、再度協議し、3月2日に実施できることになりました。今度こそ、1・2年生の皆さんスキーに行きましょう。

そのためには、1・2年生の皆さんの普段の立派な行動が大切です。畑中生の素晴らしい態度と行動でよい天気を誘いましょう。



